



執行役員

馬場 俊彦

Toshihiko Baba

グローバル化を支える技術

「山洋電気の製品を使用して本当に良かった。」と世界中のお客さまから感謝されたらどんなに素晴らしいことでしょう！

当社では、このようなお客さまの声を求めて、「グローバル化」を推進しています。

「グローバル化」の分かりやすい例としては、それぞれの地域の仕様に適合した製品の提供が挙げられます。当社ではこのような製品開発のみならず、お客さまへの当社製品に関する情報の提供、製品を取り巻くさまざまなサービスの提供などに対して「グローバル化」を進めています。

本号では特集として、「グローバル化を支える技術」について事業領域別に当社の取り組みを紹介します。ここでは、その代表的な例について述べたいと思います。

◇製品のデザイン

当社が製造・販売する製品は工業用製品です。コンシューマー製品とは異なり、使用する方に驚きを与えるようなデザインは必要ありません。扱いやすく、理解しやすいデザインが必要です。

扱いやすい、または理解しやすいと言っても、地域による文化の違いのように、その感覚は地域ごとに異なります。ある地域では重厚なコネクタが好まれますが、他の地域ではこの限りではありません。このような差をどのように製品に反映するか、あるいは共通化するかが、グローバル化を推進する技術だと言えます。

◇世界各地域の電源への対応

日本の工業用電源は3相AC200Vが一般的ですが、これは全世界からみると少数派です。多数を占めるのは、3相AC400V系で、さらにAC350V～AC600Vまで、さまざまな電源が使用されています。これらの地域で電源から直接電力供給を可能とするためには、電源部の回路設

計、部品選定、安全設計などが重要となります。また、世界各国の電源品質はさまざまで、電源電圧の変動、瞬時停電、大きなエネルギーを有する（雷など）サージの重畳にも耐えられる設計的な工夫も必要となります。

◇世界各地の規格への対応

アメリカ発のUL規格、欧州発のCEマーキングはいまや世界的な標準規格です。CEマーキング（EU指令）については、毎年のように改定版が発行されており、これをどのように開発製品に組み込むかが重要となっています。また、独自に規格を設けている国々もあり、これらの情報を速やかに入手し、製品に反映させることも重要となります。

◇製品開発の柱

当社の3つの事業部が担当する製品は、どれもエネルギー変換機器に属します。ブランド別に、San Aceは電気エネルギーを流体エネルギーに、SANUPSは電気エネルギーを同じ電気エネルギーに、SANMOTIONは電気エネルギーを機械エネルギーに変換する機器です。各製品の損失の低減、すなわち変換効率の向上は、我々が常に追い求めなければいけない重要なテーマです。変換効率の向上という大きなテーマの上に、先に述べたグローバル化につながる技術が位置すると考えられます。

また、当社製品の変換効率の向上は、全世界の省エネルギー化にも結び付くものと感じます。

製品の変換効率向上を柱として位置付けた「グローバル化を支える技術」について、簡単に述べました。当社は、世界中のお客さまの課題をお客さまと一緒に解決することで、お客さまの製品が業界トップとなるような取り組みを進めています。この取り組みによって、世界中のお客さまから喜んでいただける企業であり続けたいと思います。